

平成 27 年度実施事務事業
マネジメントシート報告書



平成 28 年 8 月

目 次

はじめに	1
1 妥当性評価	2
2 有効性評価	3
3 効率性評価	5
4 今後の事業の方向性	6
5 改革・改善による期待成果	7
6 まとめ	8
参考資料	9

◇別冊 平成27年度実施事務事業マネジメントシート◇

はじめに

1 事務事業マネジメントシート（以下マネジメントシート）とは

○事務事業ごとの具体的な改善計画書です。

○実施年度の仕事を振り返り、翌年度以降の事業の計画や改善を考えるためのものです。

2 マネジメントシートは何に活用されるのか

○市ホームページへの公開等により、市民、市議会に対して、税金がどのように使われたか、これからどのように使っていくのかを説明するものとなります。

○事務事業の現状と今後の見通しを把握できます。

○マネジメントシートを作成することにより、事務事業実施における事業計画（PLAN）⇔ 事業実施（DO）⇔ 評価（CHECK）⇔ 改革・改善（ACTION）⇔ 事業計画（PLAN）…をサイクル化させ、継続的な事業改善を行います。

○庁内において事務事業の共通認識を持つことができます。

○マネジメントシートは予算編成や総合計画の施策評価の基礎資料として用いられます。

3 評価対象事業は

○『平成27年度笛吹市予算案の概要』に基づき、各課より選定された主要事業150事業に対して評価を行いました。

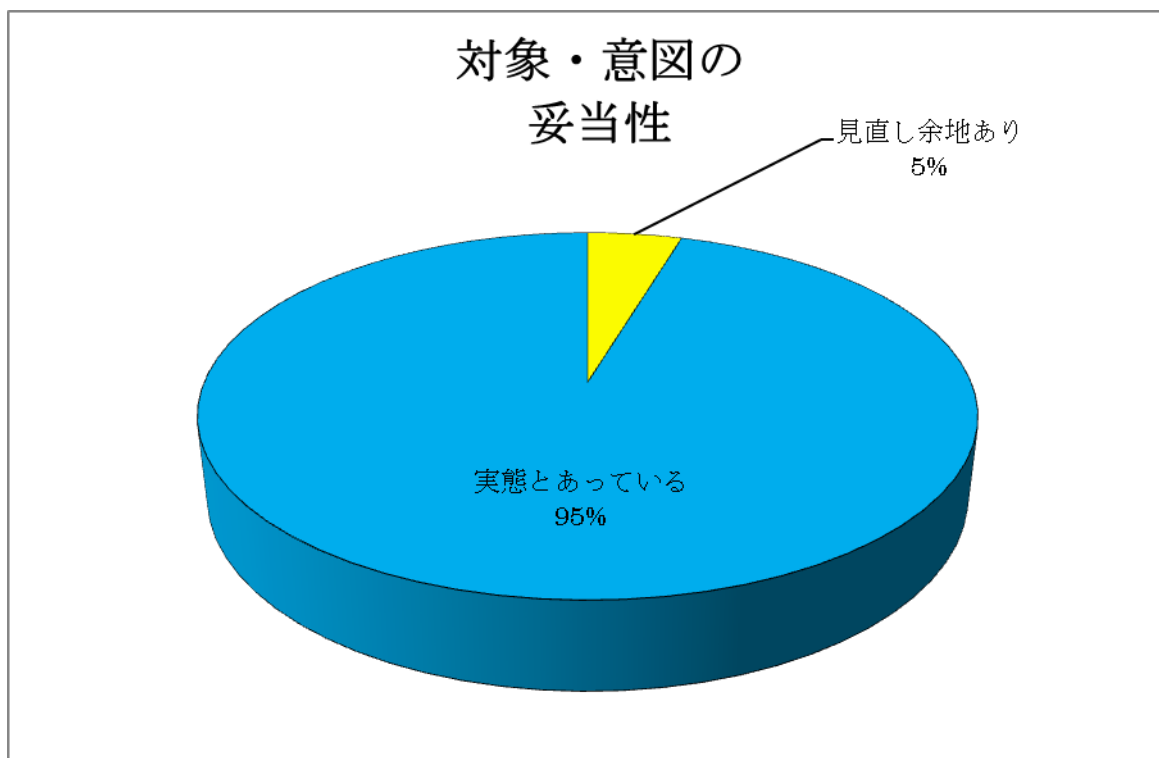
1 妥当性評価

① 対象・意図の妥当性

(対象・意図は実態と合っているか？上位施策から見てどうか？)

見直し余地あり ⇒ 7事業
(5%)

対象・意図ともに実態と合っている ⇒ 143事業
(95%)



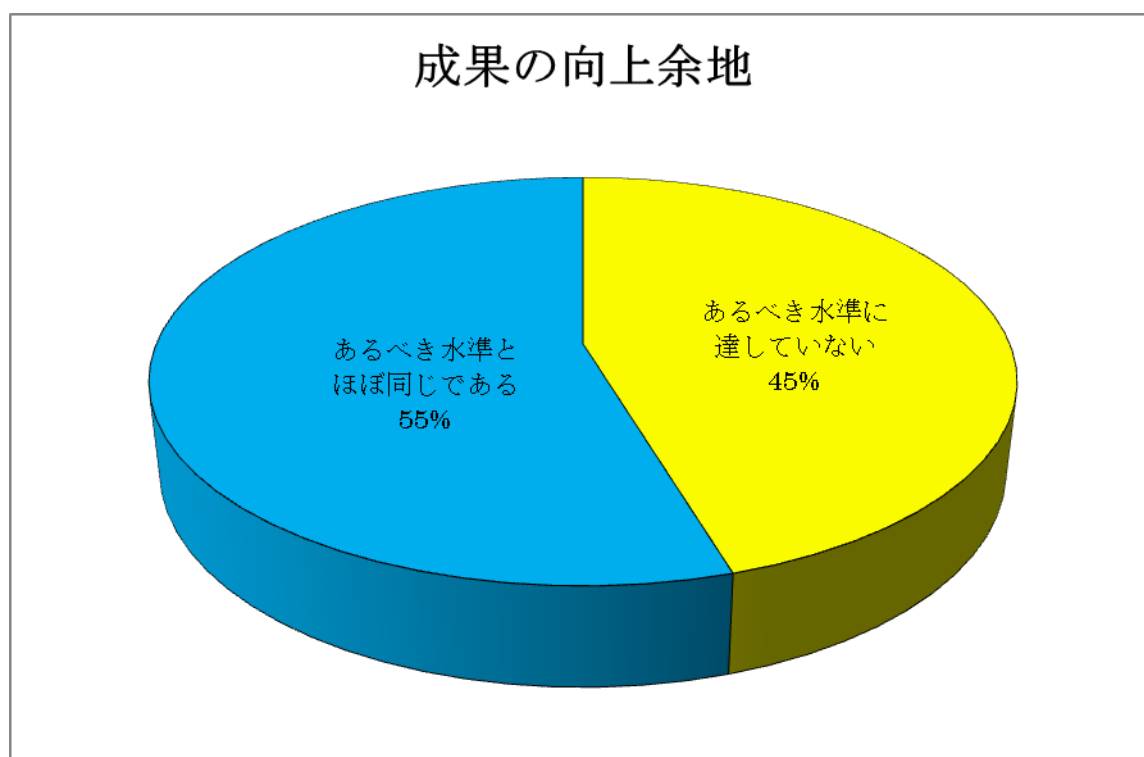
2 有効性評価

① 成果の向上余地

(事業の成果実績、水準は、あるべき水準と比べて差異はないか?)

成果の実績はあるべき水準に達していない ⇒ 68事業
(45%)

成果の実績はあるべき水準とほぼ同じである ⇒ 82事業
(55%)



② 廃止、休止、活動量削減の成果への影響

(この事業を休廃止したら市民の立場から見ると具体的に何が困るのか？また活動量削減の場合は？)

特に影響はない

⇒

3事業

(2 %)

影響あり

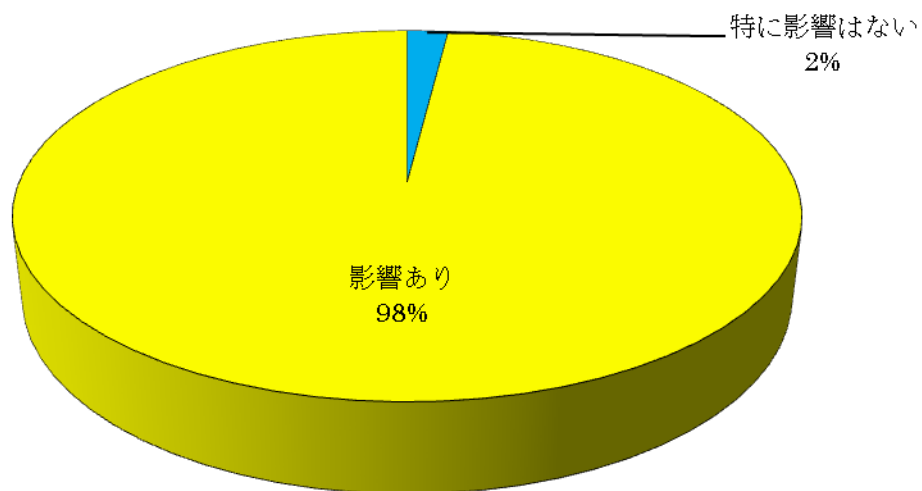
(多くの市民が困る・一部の市民が困る)

⇒

147事業

(98 %)

廃止・休止・活動量削減の
成果への影響



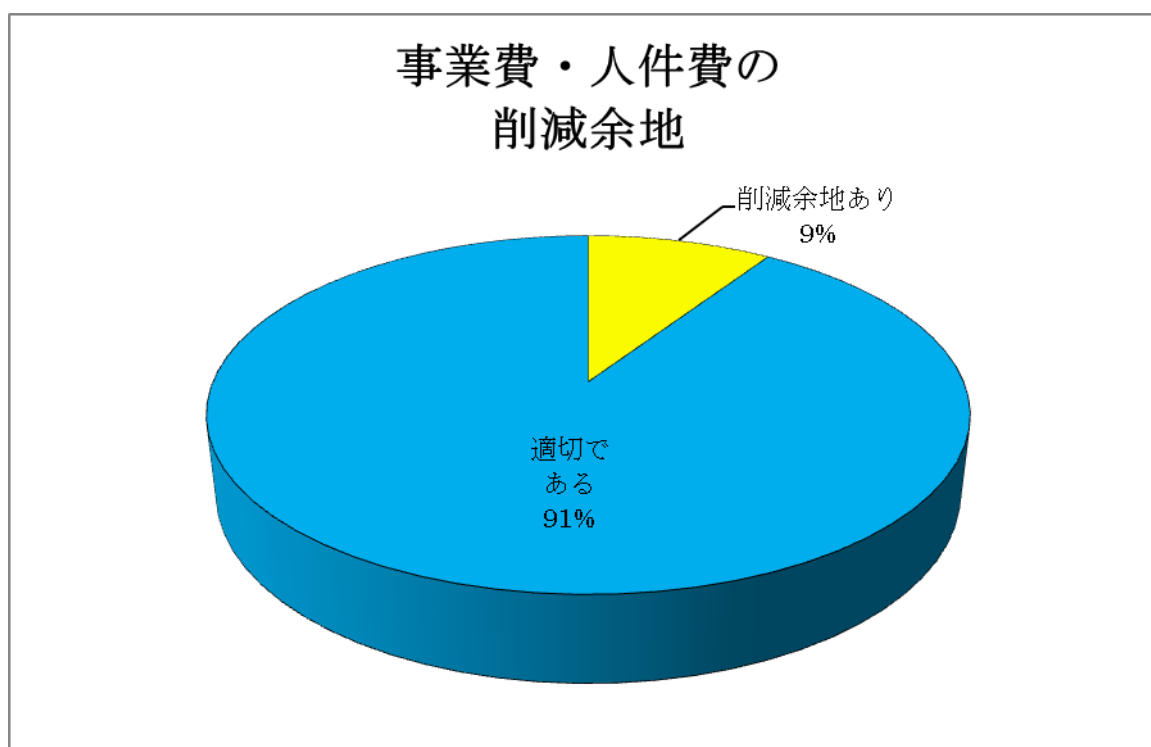
3 効率性評価

① 事業費や人件費（延べ従事人数）の削減余地

（成果を低下させずにコスト削減ができないか？活動量との関係で現状のコストは適切か？）

事業費や人件費の削減余地がある ⇒ 14事業
(9%)

適切である ⇒ 136事業
(91%)



4 今後の事業の方向性

評価結果を踏まえた今後の方向性としては、有効性・効率性の改善（65%）が求められています。

一方、事業の性質や内容によっては、継続性が重視されることから、現状維持（30%）という状況にあります。

また、廃止の6事業については、複数年度及び単年度事業の完了によるものとなっています。

廃止 ⇒ 6事業（4%）

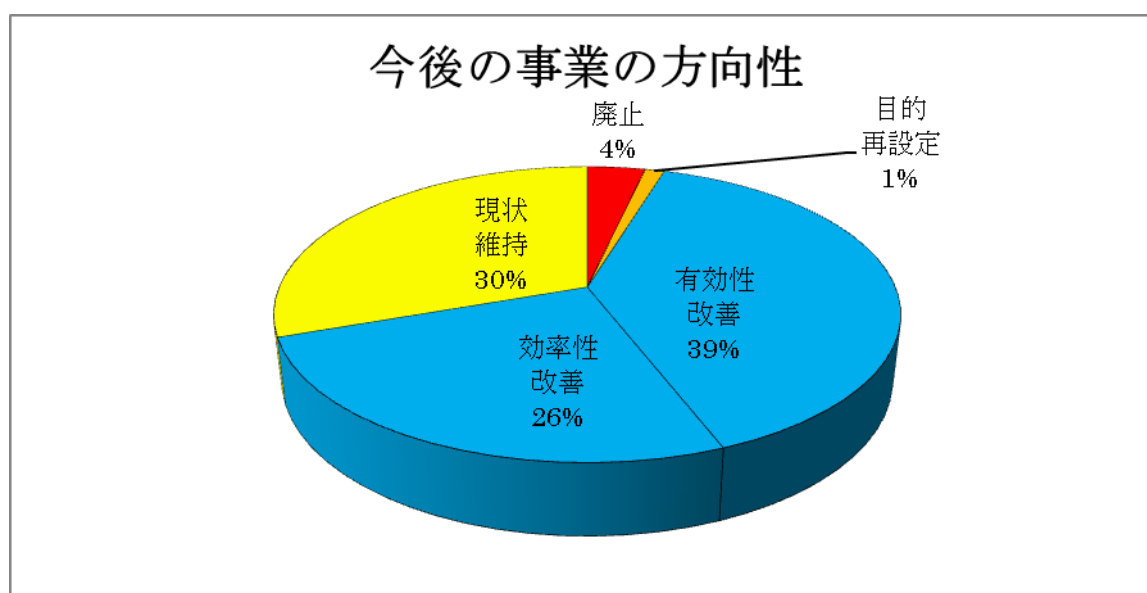
休止 ⇒ 0事業（0%）

目的再設定 ⇒ 2事業（1%）

有効性改善 ⇒ 66事業（39%）

効率性改善 ⇒ 43事業（26%）

現状維持 ⇒ 51事業（30%）



5 改革・改善による期待成果

事業を振り返り、見直し等を行うことにより、さらなる改革・改善に取り組んだ場合の期待される成果をコスト（予算等）と合わせた期待値をまとめたものになっています。

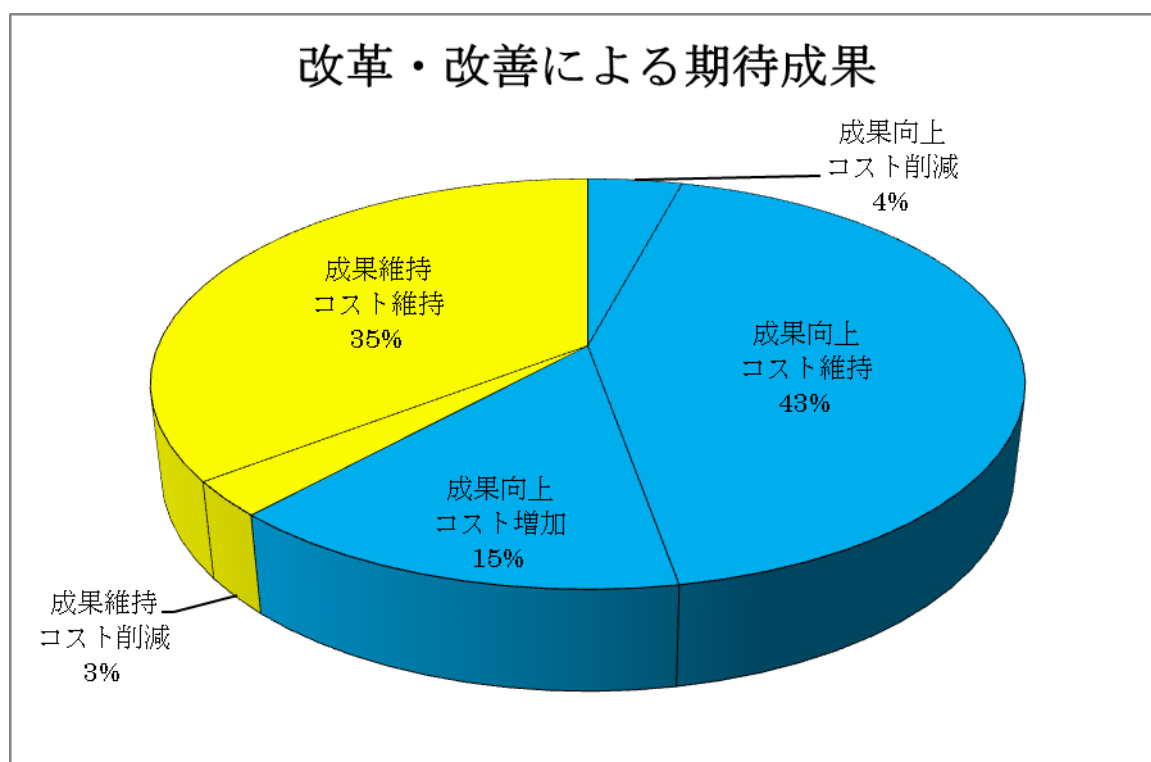
成果向上・コスト削減 ⇒ 6事業 (4%)

成果向上・コスト維持 ⇒ 62事業 (43%)

成果向上・コスト増加 ⇒ 21事業 (15%)

成果維持・コスト削減 ⇒ 4事業 (3%)

成果維持・コスト維持 ⇒ 51事業 (35%)



6 まとめ

笛吹市では、第一次笛吹市総合計画の基本構想で示した将来像『みんなで奏でる“にぎわい・やすらぎ・きらめき”のハーモニー』を実現するため、後期基本計画の中で25の施策ごとに定めた年度目標の達成に向け積極的に事業展開を行っています。

本年度については、有効性評価が示すとおり「廃止、休止、活動量削減の成果への影響」が147事業で全体の98%を占めており、特に影響がない事業は3事業とわずか2%となっています。

また、効率性評価の「事業費や人件費の削減余地」では、14事業で全体の9%となっており、改革・改善による期待成果の「コスト削減」事業は10事業で7%となっています。

このことから、少しずつではありますが、コスト面に対しては、事業の評価及び見直しにより改善の方向に向け、取り組みが進んでいます。

今後の財政状況はより一段と厳しくなることが見込まれることから、評価内容を踏まえ、事業の継続・廃止の判断（決断）及び事業の優先度を反映させた『選択と集中』による予算編成を断行する必要があります。

将来にわたって健全な財政状況が堅持していけるよう努めるとともに、より一層の知恵を絞り出し目標達成に向け、全力で取り組んでいきます。

◇平成27年度実施事務事業マネジメントシート 施策別評価一覧表◇

対象事務事業数：１５０

第一次笛吹市総合計画 後期基本計画 【平成25年度～平成29年度】 25施策名	妥当性評価		有効性評価				効率性評価		今後の事業の方向性						改革・改善による期待成果				
	対象・意図の妥当性		成果の向上余地		廃止、休止、活動量削減の成果への影響		事業費や人件費の削減余地		廃止	休止	目的再設定	有効性改善	効率性改善	現状維持	成果向上			成果維持	
	見直し余地あり	実態と合っている	あるべき水準に達していない	あるべき水準とほぼ同じである	特に影響はない	影響あり	削減余地がある	適切である							コスト削減	コスト維持	コスト増加	コスト削減	コスト維持
01.地域の特色を活かした土地利用をすすめるまちづくり		1		1		1		1						1					1
02.人が行き交う道路・交通ネットワークづくり		9	8	1		9	2	7				6	3	2	3	3	1		2
03.機能的で魅力ある市街地づくり		1		1	1		1		1										
04.人々の交流を盛んにするしくみづくり		4	3	1		4		4				3		1		2	1		1
05.もてなしの心があふれる観光地づくり	2	4	1	5		6		6	2			3	3	1		3			1
06.桃・ぶどう日本一を誇れる魅力的で安定的な農林業づくり		19	7	12		19	1	18			1	2	4	13	1	2	1	2	13
07.活力ある地域経済づくり	2	2	3	1	1	3	1	3				2		2	1			1	2
08.災害に強い安全な備えづくり	1	8	3	6		9		9	1			2	3	3		5			3
09.命を守り安心して暮らせるしくみづくり		8	3	5		8	1	7				1	4	3		3	2		3
10.快適で暮らしやすい生活環境づくり		13	9	4		13	1	12				6	5	4		6	3		4
11.美しい環境を大切に作る社会づくり		6	2	4		6	2	4				3	1	2		4			2
12.憩いと癒しの空間づくり		2	1	1		2		2				1		1		1			1
13.健やかで生きいきと暮らせる環境づくり		3	2	1		3		3				1	2			1	2		
14.安心して生み育てられる環境づくり		8		8		8	1	7				3	1	4		2	2		4
15.高齢者がいつまでも元気で暮らせる環境づくり	1	5	2	4		6	1	5			1	5	4			6			
16.障がい者の自立を支援する環境づくり		2	2			2		2				2				1	1		
17.暮らしの基礎を支える安心なしくみづくり		1		1		1		1				1				1			
18.子どもたちの個性を尊重する学校づくり		12		12	1	11		12	2					10					10
19.子どもの健やかな成長を支える環境づくり		3	1	2		3		3				3	1			1	2		
20.いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり		4	3	1		4		4				2	2			3	1		
21.身近にスポーツを楽しめる環境づくり		1		1		1		1						1					1
22.地域の文化を育み伝える環境づくり		3	3			3		3				3				1	1	1	
23.市民と行政の協働によるまちづくり		4	4			4		4				3	1			4			
24.親しみやすく機能的な市役所づくり		9	4	5		9	3	6				6	7		1	5	3		
25.健全で安定した行財政基盤づくり	1	11	7	5		12		12				8	2	3		8	1		3
合 計	7	143	68	82	3	147	14	136	6		2	66	43	51	6	62	21	4	51

◇課別評価一覧表◇

対象事務事業数：１５０

課名	妥当性評価		有効性評価				効率性評価	
	対象・意図の妥当性		成果の向上余地		廃止、休止、活動量削減の成果への影響		事業費や人件費の削減余地	
	見直し余地あり	実態と合っている	あるべき水準に達していない	あるべき水準とほぼ同じである	特に影響はない	影響あり	削減余地がある	適切である
01.総務課	1	5	4	2		6	1	5
02.管財課		3		3		3	3	
03.税務課		2		2		2		2
04.収税課		2	1	1		2		2
05.経営企画課		11	10	1		11	2	9
06.情報政策課		2		2		2		2
07.財政課		2	2			2		2
08.市民活動支援課		6	4	2		6		6
09.環境推進課		6	2	4		6	2	4
10.国民健康保険課		1	1			1		1
11.管理総務課		4	2	2		4		4
12.土木課		9	5	4		9		9
13.まちづくり整備課		4	1	3	1	3	1	3
14.福祉総務課	1	2	3			3		3
15.健康づくり課		4	1	3		4		4
16.児童課		5		5		5		5
17.保育課		1		1		1		1
18.高齢福祉課	1	4	2	3		5	1	4
19.介護保険課		1		1		1		1
20.生活援護課		1		1		1		1
21.農林土木課		9	5	4		9		9
22.農林振興課		13	4	9		13	1	12
23.観光商工課	4	5	4	5	1	8	1	8
24.農業委員会事務局		1		1		1		1
25.教育総務課		5		5		5	1	4
26.学校教育課		8		8	1	7		8
27.生涯学習課		6	3	3		6		6
28.図書館		1	1			1		1
29.文化財課		3	3			3		3
30.水道課		2	2			2		2
31.業務課		2	2			2	1	1
32.下水道課		5	2	3		5		5
33.管理課		2	1	1		2		2
34.指令課		1		1		1		1
35.消防課		1		1		1		1
36.予防課		1	1			1		1
37.議会事務局		1	1			1		1
38.公平委員会事務局		1		1		1		1
39.監査委員事務局		1	1			1		1
合 計	7	143	68	82	3	147	14	136

◇課別評価一覧表◇

対象事務事業数：１５０

課名	今後の事業の方向性						改革・改善による期待成果				
	廃止	休止	目的 再設定	有効性 改善	効率性 改善	現状 維持	成果向上			成果維持	
							コスト 削減	コスト 維持	コスト 増加	コスト 削減	コスト 維持
01.総務課	1			3	1	1		4			1
02.管財課					3			1	2		
03.税務課				1	1			1	1		
04.収税課				1	1	1		1			1
05.経営企画課				10	5	1	2	7	1		1
06.情報政策課				2	1		1		1		
07.財政課				2				2			
08.市民活動支援課				4	2			6			
09.環境推進課				3	1	2		4			2
10.国民健康保険課				1				1			
11.管理総務課				2		2		1	1		2
12.土木課				4	1	4	1	3	1		4
13.まちづくり整備課	2				2			2			
14.福祉総務課				2	1			2	1		
15.健康づくり課				1	2	1			3		1
16.児童課				3	2	1		2	2		1
17.保育課						1					1
18.高齢福祉課			1	4	4			5			
19.介護保険課				1				1			
20.生活援護課				1				1			
21.農林土木課				1	3	5		2		2	5
22.農林振興課			1	2	1	10	1	1	1		10
23.観光商工課	1			5	3	3	1	3		1	3
24.農業委員会事務局						1					1
25.教育総務課	1					4					4
26.学校教育課	1					7					7
27.生涯学習課				3	2	1		3	2		1
28.図書館				1				1			
29.文化財課				3				1	1	1	
30.水道課				1		1		1			1
31.業務課				2	2			2			
32.下水道課				1	3	1		2	2		1
33.管理課					1	1			1		1
34.指令課					1				1		
35.消防課						1					1
36.予防課						1					1
37.議会事務局				1				1			
38.公平委員会事務局						1					1
39.監査委員事務局				1				1			
合 計	6		2	66	43	51	6	62	21	4	51